

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成29年1月10日発行

1月の主な行事

1月13日(金)

全州市町村社会教育担当者研修会(ヴィレステひえづ)

1月18日(水)~2月23日(木)

平成28年度社会教育主事講習[B](まなびタウンとうはく)

社会教育団体活動助成事業について(実践報告)

みささ青空体験塾28



東伯郡社会教育協議会の補助事業を活用された団体の報告です。

(報告 里山地域研究会 山田道治さん)

8月20日は好天だった。朝9時に三朝町総合文化ホールから町のマイクロバス2台に分乗し、天神川親水スポットへ向かって出発した。子供たちが水に慣れるため、魚が到着する時までは「川遊び」だ。ニジマスは河川の生態系を乱すということなので、値段は高いがヤマメにした。

塾長が「先ず素手で魚をつかみ、その感触を実感してください」と言うと、子供たちはその通りに魚を追いかけた。

小学校低学年といえども、たちまち魚は捕えられた。中には2匹捕まえた子供もいた。全員が最低1匹は捕ったようだ。捕った魚は町内の老人クラブの若手(?)が暑い中、焼いてくれた。地域の人にも参加して頂き、塩加減を指導してもらった。子供たちは焼き立てのヤマメを口にして満足そうだった。



たくさんのヤマメを捕まえようと必死です!

このイベントは事前の会場準備と後かたづけが大変で、特に葦の除去と水量の確保は困難を伴う。準備段階で老人クラブの人たちにも参加していただくなど、多くの人々に関わってもらい、事業を行っている。

我がNPOでは、夏の風物詩「魚つかみ」を通して親子の絆や友達同士の絆を深めてもらいたいと思い実施した。我々メンバーも子供たちのために「何かをやった」という満たされた気持ちが持てたことがうれしい。

最後ですが東伯郡社会教育協議会の支援に感謝したい。



事前準備では老人クラブにも参加していただきました。ありがとうございました!

折鶴奉納による平和活動

(報告 三朝町青年団長 河藤正隆さん)



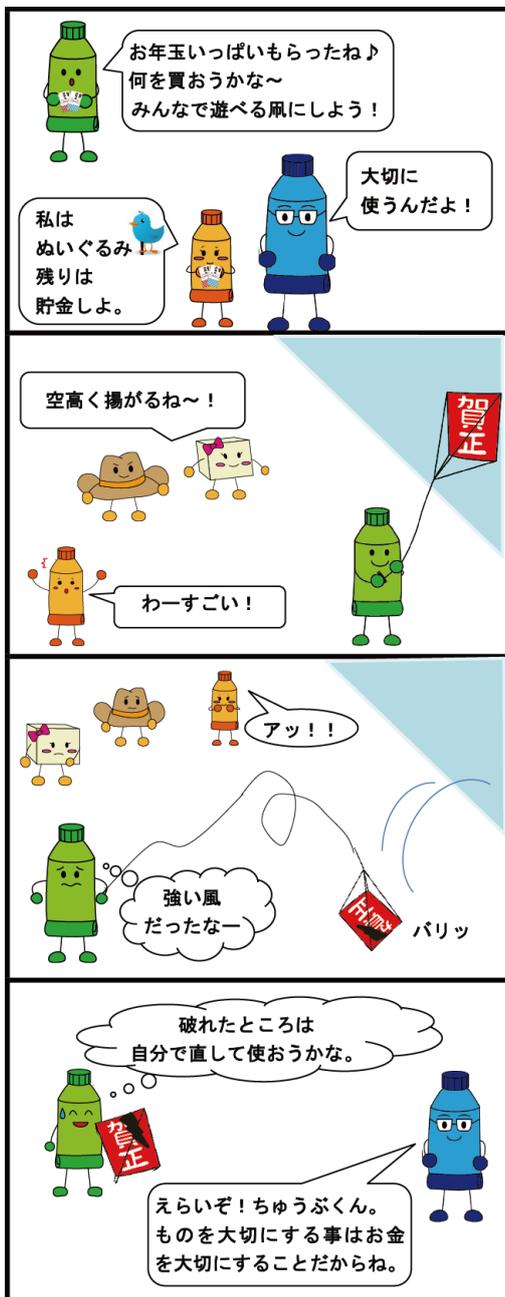
三朝町青年団の恒例行事として、少なくとも10年以上続いている「広島への折鶴奉納」を行った。私たちが奉納する折鶴は、主に町内の住民や福祉施設の入居者、児童等、多くの方々から集められたもので、近年では募集をしなくても夏頃になると私たちのもとへ届けられるようになった。それほど、この折鶴奉納が地域に根付いているのだと驚いている。このようにして集められた約5000羽の折鶴を、青年団員2名が広島平和記念公園へ直接持参し、奉納した。公園内にある折鶴奉納場所は全国からたくさんの人の平和への思いが集まっている場所なんだと感じるとともに、三朝町青年団として地域の方々の思いを代表して、無事に奉納することができたことに意義を感じている。



折鶴にはたくさんの方の願いが込められています！

ちゅうぶくん

～お金を大切に～



特に、今年はオバマ大統領が広島平和記念公園を訪問したことが大きなニュースになり、世界的にも核放棄や争いのない世の中に対する思いが改めて認識された年であったと思う。

私たち三朝町青年団は昭和60年前後に生まれた30才前後のメンバーで構成されており、終戦からそう遠くない時代を生きてきたと感じているが、あと30年もすれば戦後100年となり、戦争や核兵器が日本に2度落とされたという事実が、次第に忘れられていくのではないかと不安を抱いた。私たちがおじいさん、おばあさんから戦時中の実体験を聞いた経験も、これから生まれてくる子どもたちはできなくなるだろう。

世界で唯一核兵器が使われた国に生きる者として、絶対に忘れてはいけないこの事実を次世代に伝えていく必要があり、その役割を三朝町青年団も担っていく必要があると強く感じた。

これから、私たちも30代、40代と年を取っていくが、私たちがたくさんの先輩方が引き継いできたこの伝統を守り、決して途切れることなく次世代の青年団員にバトンを渡していきたい。



平和の鐘が響きます。

【あしがき】

あけましておめでとうございます。多くの方とのご縁を大切に社会教育を進めていけたらと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。(西村)

中部教育局 社会教育担当 西村信彦

電話 0858-23-3253

ファクシミリ 0858-23-5203

電子メール nishimuran@pref.tottori.jp